

# 「我が街太田おもしろ探訪Ⅲ」

**サブテーマ:「住んでよしの太田から訪れてよしの太田へ」**

## 目次

1. テーマ
2. 本プロジェクトの目的
3. 年間の行動記録
4. 太田市の魅力について
5. 今後の課題
6. 年間のまとめ
7. 参考文献
8. 担当教員による講評

経済学部 経営学科  
平成 25 年度演習 I プロジェクトゼミ  
指導教授 木村 和夫

参加学生

21112014

21112031

21112047

21112068

21112102

21112104

21112151

- 1、 **テーマ**：今年度「我が街太田おもしろ探訪Ⅲ」として、私たちのゼミは「住んでよしの太田から訪れてよしの太田」をテーマに取り組みました。
- 2、 **本プロジェクトの目的**：  
私たちのゼミは「住んでよしの太田から訪れてよしの太田」をテーマに取り組み、本プロジェクトの目的である本学の地元・太田市をモデル対象として、ビジネスの観点から多角的に探究することにより、各自がいかなる地域で仕事をする場合でも、共通して対応できる「地域社会対応能力」を身につけることです。
- 3、 **年間の行動記録**：太田市の自然環境、歴史的、文化的観光資源の現状調査及び上記目的達成のための**課題策定ゼミ**。
- 4、 **進捗方法**：下記の手順により現調を実行した。

**本プロジェクトの目的と、1年間の進め方について検討する：**

第1回 本ゼミの目的は、観光ホスピタリティコース第二期生が本学の地元・太田市をモデル対象として、ビジネスの観点から多角的に探究することにより、各自がいかなる地域で仕事する場合でも、共通して対応できる「地域社会対応能力」を身に付けることにある。どのような仕事に就くにしても、商売をやるにしても、その街の人口構成、産業構造、人々の気質、生活スタイル、消費性向（消費型、貯蓄型など）、それらを形成する歴史的、文化的背景を理解、認識して取り組むことが、その地域の人々に快く受け入れられ、事業を成功させる基になる。本ゼミはそれらを把握する手法を体験的に学び、研究成果を発表することとする。

**調査項目の整理、策定討議：**

第2回 古代からの長い歴史・文化の豊かな資源を有する太田市においては調査対象を絞り込み、現場調査をもとに課題の検討を行い、提案レポートの作成、提案発表の作業工程を通して、考える力、まとめる力、発表力を養い身に付けることとする。

**第一期生・井上 勇佑さんから「同 探訪Ⅱ」の取り組み概要聴取：**

第3回 前年度学内発表のPPT及び報告書を基にゼミの取り組み内容及び課題、問題点の説明を受け、本年度の参考とした。

**現地調査開始・**

第4回 **ぐんまこどもの国見学**：詳細は後述参照

第5回 **ジャパンスネークセンター&三日月村テーマパーク見学**：詳細は後述参照

**世良田東照宮&縁切り寺・満徳寺資料館見学** :三代将軍家光が日光東照宮を改築した際、徳川氏祖先の地・世良田に旧奥社の拝殿と宝塔が移築された。桃山時代の建築様式をよく遺す拝殿(国重文)、巢籠もりの鷹が有名な本殿(国重文)をはじめ、近世初期の文化財が豊富・・・詳細は後述参照

第 6 回

縁切寺とは、江戸時代に離婚を求めて駆け込んだ妻を救済して、夫との離婚を達成させてくれた尼寺のことで、「駆け込み寺」とも「駆け入り寺」ともいう。縁切寺は寺院のもつアジール性(避難所)の名残と考えられ、男子禁制の尼寺には、一般的に縁切寺的機能があったと思われる。

しかし、江戸時代中期以降、幕府から公認された縁切寺は、ここ上州(群馬県)の満徳寺と相州(神奈川県)鎌倉の東慶寺の世界に唯二つだけの駆け込み寺であった。満徳寺は千姫自身が入寺し、離婚後再婚した例にならって、両寺とも古くからの縁切寺法の特権が再確認されたと伝えられています。

詳細は後述参照。

**金山城跡ガイダンス施設&金山城跡見学** :

第 7 回

金山城跡は東西約 3km、南北約 4km で高さ 235.8m の金山丘陵(「万葉集」東歌の新田山か)のほぼ全域にわたって築かれた戦国時代の山城です。文明元年(1469)に新田一族の岩松家純によって築かれ、その後、主は下剋上によって横瀬氏(後に由良氏)、そして小田原北条氏とかわり、北条氏が豊臣秀吉に滅ぼされて金山城も廃城となった。山頂の実城域には新田神社が祀られ、大手虎口を中心に、南曲輪及び日ノ池・月ノ池などが復元整備され、市民の憩いの場・歴史学習の場として活用されています。詳細は後述参照。

「金山城跡ガイダンス施設」は金山城跡のみならず太田市全域の歴史観光案内の中心ガイダンス施設として機能する方法について検討する。詳細は後述参照。

第 8 回

**道の駅おおた見学**:国道 17 号上武道路に面する「道の駅おおた」。特色は、屋台形式で楽しく選んでお食事できるケータリングカービレッジ。太田市産のやまといもをはじめ、豊富な新鮮野菜や民芸品・工芸品が並ぶ特産市場。また、長距離運転手も重宝する 24 時間利用可能な休憩スペースもある本施設の更なる活性化策を検討する。詳細は後述参照。

第 9 回

三松祭中間発表

第 10 回

資料分類整理・・・項目別整理分析検討編集

- 第 11 回 項目別レポート作成①
- 第 12 回 項目別レポート作成②
- 第 13 回 全体レポートの編集①
- 第 14 回 全体レポートの編集・最終報告書作成

## 1 つ目、道の駅 おおた

### 選定理由

今では、全国各地に拠点を置き、各都道府県、各市町村により地域住民との密接な関係により成り立っている近年稀にみる新しいビジネススタイルの展開。

その名も「道の駅」地元である私たちが地域活性化のためになにができるのか？

また、学生ならではの視点で学生主体の新しい商品企画を行いたいと思い、今回のプロジェクトの選定理由とする。

### 道の駅の定義

国土交通省（制度開始時は建設省）により登録された、休憩施設と地域振興施設が一体となった道路施設。道路利用者のための「休憩機能」、道路利用者や地域の人々のための「情報発信機能」、道の駅を核としてその地域の町同士が連携する「地域の連携機能」という 3 つの機能を併せ持つ。2013 年 10 月 11 日で全国に 1, 014 カ所登録されています。

「道の駅」は「鉄道の駅」との対比をなす言葉であるが、もともと道の駅は街道沿いにある宿場を指す言葉であった。

施設…道の駅は、24 時間利用可能な一定数の駐車スペース、トイレ、24 時間利用可能な電話、情報提供施設を備えた施設であることが登録の条件となる。

また、多くの場合、道路や地域の情報を提供する案内人が置かれ、その他、その地域の自主的工夫のなされた施設が設置され、その地域の文化・名所・特産物などを活用したサービス（多くは農産物直売店、売店、レストランなど）が提供されています。

### 道の駅 おおた

道の駅「おおた」は、太田市中心街から約 10km、北関東自動車道伊勢崎 IC から約 12km に位置し、太田市内でも有数の交通量を有する国道 17 号上武道路に面し、近くには自然豊かな一級河川石田川が流れる所にあります。

徳川発祥の地及び中島飛行機王生誕の地として文化財・歴史的建造物などが数多くあり、観光拠点としての条件に恵まれています。

国道 17 号上武道路に面する「道の駅 おおた」の特色は、屋台形式で楽しく選んでお食事

できるケータリングカーヴィレッジ。太田産のやまといもをはじめ、豊富な新鮮野菜や民芸品・工芸品が並ぶ特産市場。また、長距離運転も重宝する 24 時間利用可能な休憩スペースもあります。

## 事業概要

旧尾島町における「尾島町総合計画」の中にあつた「道の駅」構想を合併後、「新生太田総合計画」において、産業経済振興の施策「道の駅建設事業」として引き継ぎ、以後、関係省庁との折衝、関係法令との整合性、住民参加による建設討議会議による協議などを経て、現在は国土交通との一体整備事業として平成 24 年 3 月 30 日にオープンしました。

### 1.位置・規模

位置：太田市柏川町 701-1

規模：20, 516 平方メートル

### 2.駐車場

小型車 126 台、大型車 40 台、障害者用 4 台

### 3.太田市整備施設概要

建設面積：883 平方メートル

延床面積：878 平方メートル

#### 【施設内コーナー】

- ・農産物展示即売コーナー
- ・多目的休憩コーナー

### 4.国土交通省整備施設概要

建設面積：250 平方メートル程度

設備内容：トイレ・情報発信施設

住所：〒370-0421 群馬県太田市柏川町 701-1

TEL：0276-56-9350

FAX：0276-56-9351

「道の駅 おおた」を今回、学生ならではの視点で考察してみて

「道の駅」との地域活性化

「道の駅」では道路や地域に関する情報提供をはじめ、それぞれの地域が創意工夫を凝らした多様なサービスが提供されています。具体的には物販販売、喫茶、レストラン、温泉、文化教養施設、観光レクリエーションなどで、なかでも地場産の農水産物や、地元食材、地元食材を使用したレストランでの食事の提供など、地域のオリジナリティを活かした

サービスが人気を集めています。これは「食の安全・安心」、「安くて新鮮」といった利用者ニーズにうまくマッチしていることが背景にあるものと思われます。

一方、地方では過疎化が進み、次第に活力が失われつつあるなかで、「道の駅」を通じて地域活性化を図ることが期待されています。地元農家が丹精込めて育てた農産物や、民芸品・工芸品を提供することによって地域の連携を図り、地域と道路利用の交流を促進され、地域に元気や活力、大きな経済効果が波及される。「道の駅 おおた」は、地域、利用者双方が満足できる関係が築けているのかもしれない。

### 「道の駅 おおた」との商品開発

「道の駅 おおた」で最大の売り上げを誇るのは各種おまんじゅうです。「道の駅 おおた」をこれまで以上のたくさんの人々に認知してもらい、ますます活性化させるために、太田市の観光名所である世良田東照宮の葵の紋をおまんじゅうに付け、葵の紋まんじゅうとして販売することを考えました。

葵の紋まんじゅうを「道の駅 おおた」で販売することにより、商品を手にとった方々が太田市の歴史や観光名所に触れるきっかけづくりになればと考えます。

## 2つ目、ぐんまこどもの国

### 選定理由

太田市の遊具施設として認知度が低く、地元の人しか知らなかったため太田市にも遊べる施設があるということを知って欲しかったからです。

### ぐんまこどもの国とは

ぐんまこどもの国は群馬県太田市長手町にあるレジャー施設であり、金山の西のすそ野に位置する。正式名称は群馬県立金山総合公園。

1979年（昭和54年）の国連国際児童年を記念して建設が決定し、1996年（平成8年）5月までに3期に分け整備された。財団法人群馬県公園緑地協会により運営されています。園内にはスペースシアター（プラネタリウム）やパソコンルームを持つ児童会館を併設しています。敷地内には、幼児用の遊具広場やたくさんのアスレチック型遊具のならぶダイナミック広場、金山の斜面を500mも滑走するサマーボブスレー（平日運休）、さらに面白い自転車が乗れるサイクル広場（月曜休場）や木工や陶芸教室の開かれるふれあい工房など、1日では遊びきれない程の充実した施設があります。有料遊具もいくつかあります。

### ぐんまこどもの国児童会館施設内容

#### 内紹介一覧 フロアーレイアウト

1 階インフォメーションこども図書室サイエンス  
ワンダーランド

2 階スペースシアタークラフトルームプレイルームビデオライブラリー  
パソコンルーム多目的ホール売店



### 3 階研修室ビューラウンジ授乳室

雨の日でも大丈夫。

入口エントランス広場にある「ぐんまこどもの国児童会館」には、110 インチの大画面ハイビジョンシアターやペースシアター（プラネタリウム）などがあるサイエンスワンダーランドがあり、科学の不思議を楽しく学べる。他にもプレイルームやパソコンルーム、図書室、3Fには眺めのいいビューラウンジもなどもあり、雨の日でも館内で1日中楽しむことができる。館内施設一部有料。

#### ぐんまこどもの国の遊具

（有料）平日運休

|           |    |       |    |       |
|-----------|----|-------|----|-------|
| サイクルモノレール | 大人 | 100 円 | 子供 | 200 円 |
| サイクル電車    |    | 100 円 |    | 200 円 |
| おもしろ自転車   |    | 100 円 |    | 200 円 |
| 変わり種自転車   |    | 100 円 |    | 200 円 |
| バッテリーカー   |    | 100 円 |    | 100 円 |

#### 山頂・山麓駅

|            |  |       |  |       |
|------------|--|-------|--|-------|
| サマーボブスレー*2 |  | 100 円 |  | 200 円 |
| パノラマチェア*2  |  | 100 円 |  | 200 円 |

#### イベント情報

##### 「ふれあい工房」

ふれあい工房は、自然とのふれあい、人とのふれあいをとおして、創造力（生み出す力）を育てることを目的としています。内容は木工と陶芸の教室を主とした自然の素材を対象とした学習施設があります。木工教室ではブーメランやはがき差し、木とんぼやコースターなどが作れる。そのほかに毎月1回特別木工教室として「森の小さな動物たち」を開催しています。既に用意されている材料を接着剤でくっつけて作るだけなので小さいお子様でも非常に簡単に出来る。陶芸教室では初心者の方は湯飲みや絵付け皿、2回目以降ではお皿、花瓶など好きなものが作れる。また、木工・陶芸教室では日頃、作れないような物を講習会として開講しています。

##### 「ふれあいクラブ」

自分たちで花の種をまいたり、苗を植えたり  
草むしりや水まき、肥料をやって、お花を育てたり  
ナチュラルガーデンで育った植物を株分け・種取りして自宅へ持ち帰ったり  
有名なガーデナーをお招きして、その指導の元で、技術・式のレベルアップを図ったり  
・・・などなど色々な事が可能。

### 「金山散歩」

太田市のシンボルである金山はだれでも知っているが金山城の歴史や豊かな自然などは意外と知らない方が多いと思う。そこで毎月一回程度、金山を歩いて楽しみながら勉強する事を目的として「金山山歩」を計画し一昨年から2年間実施してきたが、今年度も引き続き実施する。幸い「ぐんまこどもの国」は駐車場も広いので、この公園を基点に金山を歩くのは非常に便利であり、多くの人に健康づくりを兼ねて楽しめる。

その他、紙ヒコーキ教室、自然と遊ぼう、マジック戦隊 MCO ショーなどの沢山のイベントがあります。

### ぐんまこどもの国を考察してみても

土日は駐車場がうまるほど家族づれが多く見えて、平日は全然人がいませんでした。

なので、平日も遊べる様なイベントを実施すれば学校帰りの子供が遊びに来てくれると思いました。

もっとぐんまこどもの国を知ってもらおう為ポスターを貼ったりして知名度を上げるべきだと思いました。それと交通が不便なのでバスの定期運行をするなどすれば子供達も気軽に来られると思いました。

## 3つ目、三日月村について

三日月村は1984年4月にオープンして、江戸時代を舞台にしたテーマパークです。

園内では現金通貨を両替して天保通宝、寛永通宝を使用しています。以前はパーク内の道路が未舗装だったが、ある来園客が「雨の日に道がぬかるんで靴が汚れる。」という苦情を申し立てアスファルトに舗装するに至り、往時の風情は全く消え失せてしまった。原作者の「江戸時代そのままの街並みを再現したい」という構想がきっかけで生まれたテーマパークではあるがファミリー層の来園見込んだ施設を次々にオープンさせたことも相まって、開園当初の姿からは大きく異なっています。確かに中身は少し変わってしまいましたが、アトラクションや遊び道具からは、昔の情景やどこか懐かしく思えるものがたくさんあるのでとても楽しめるテーマパークです。

### 「入場料と定休日」

入場料は大人が630円 子供が315円、さらにセット料金の設定もあり、こちらが大人1575円で子供が1050円となっています。

定休日は金曜日で、営業時間は午前9時30～午後4時30までとなっています。

### 「主なアトラクション」

三日月村にはたくさん楽しいアトラクションがあります。「カラクリ屋敷」といういわゆる忍者屋敷をガイドさんが案内しながら、カラクリの説明をしてくれて進んでいくアトラクションや、「怪異現洞」といって中が真っ暗になっていて、自分で進路を見つけ出して進んでいくアトラクションや、有料ですが、「不思議土蔵」とゆう目の錯覚を利用して、平行感覚を失ってしまうアトラクションなど、1日いても飽きないとても充実したテーマパーク

です。三日月村はアトラクション以外にも食べる場所もあり、江戸時代にあった食べ物なのでそれも魅力のひとつです。

三日月村を調べてみて思ったことは、このテーマパークは子供というよりは大人やお年寄りをターゲットにしている所があるので、もう少し子供でも楽しめるものがあったらいいのではと思いました。そして新しいアトラクションなども取り入れればより一層楽しめるテーマパークになると思います。

#### 4つ目、ジャパンスネークセンターとは？

文部科学省管轄の財団法人であり、正式名称を「日本蛇族学術研究所」と称しています。日本で唯一蛇類を中心に様々な研究を行っており、一般的にジャパンスネークセンターとして親しまれ、世界各地のいろいろなへびを飼育・展示しています。また、医療機関や一般からのへびに関する問い合わせにも積極的に答えています。このように、園内は研究施設かと思いきや、へびの展示又は観覧施設が多くあり、ファミリー向けの観光スポットにもなっています。

主な施設：

屋外飼育施設

マムシ、シマヘビ、シロヘビを露天の囲い内で飼育しています。特にマムシは数千匹を飼育しています。かつては更に多く、数万に及ぶマムシが飼育されていた。

毒蛇温室

主に毒蛇を中心として飼育されている温室棟。タイパン、ガボンアダー、ハブ、キングコブラ、ミナミオオガシラなどがいます。

巨大蛇温室

ニシキヘビ、ボアなど、大型の蛇を中心に飼育されている温室棟。かつては海蛇も飼育されていた。

熱帯蛇温室

最も新しい施設。原宿・北海道での毒蛇事件で押収された蛇が飼育されています。猛毒のグリーンマンバやブラックマンバなど。

資料館

収蔵した骨格標本や透明標本、剥製などが展示してあります。白蛇や海蛇、大型のボアやアナコンダなど。変わったところではツチノコ関連の資料も含まれています。

採毒室

毒蛇の血清を作成するための採毒を行う施設。見学者向けに、ハブの採毒の実演が行われる他、繁殖させたへびの幼蛇も展示されています。

場所

太田市藪塚というところで近くには藪塚温泉があります。又、隣には三日月村があります。

## 主なイベント

爬虫類専門施設として日本最大級の規模であるジャパンスネークセンターは国内では見ることができない猛毒をもつヘビなど多くの種類のヘビが展示されています。研究室では週末になると猛毒ヘビの採毒シーンを観覧することができます。さらにはネズミを丸呑みする食事シーンの見学、ヘビを首に巻いての写真撮影などがあります。その他にも多くのイベントがあり楽しい所です。

## 観光の観点からみて

ヘビとここまで触れ合う事が可能なのはここジャパンスネークセンターのみです。しかし、施設全体古く錆びついている箇所が多く、掃除が行き届いていないように感じました。特に接客に関しては改善が必要だと感じます。観光名所にするには顧客を満足させる接客、施設にしていく事が求められ、場所に関しても太田市から 30 分と若干遠いです。そのため、より訪れる価値を作らなくてはならないと思います。

## 5 つ目、 世良田東照宮の歴史について

世良田東照宮は、徳川氏発祥の地といわれる神社で、「東照大権現」としての徳川家康を祭神とする東照宮の一つでもあり、1617 年（元和 3 年）に駿河国久能山（久能山東照宮）により、下野国日光（日光東照宮）へ家康の遺骸を改葬した際に建てられた社殿を、1644 年（寛永 21 年）に上野国世良田へと移築し、創建されました。また、太田市内の他の社寺・館跡とともに「新田荘遺跡」として国の史跡にも指定されています。

この地は新田氏の開祖新田義重の居館跡とされ、隣接する長楽寺は義重の供養塔であり、歴代新田氏本宗家惣領が厚く庇護を与え、大いに栄えていました。関東に入った徳川氏は、新田氏から分立したこの地を発祥地とする世良田氏を自称していたため、徳川氏発祥のゆかりの地ともされており、1644 年（寛永 21 年）に 3 代将軍徳川家光の命により、徳川氏の遠祖にあたる世良田義季の墓があり、天海僧正が住職をしていた長楽寺の境内に創建されました。また、歴代の徳川将軍からも信仰されており、江戸時代が大いに栄えたと知られています。1875 年（明治 8 年）、神仏分離によって長楽寺から分離し、1879 年（明治 12 年）に郷社に列格したことであり、境内には、長楽寺に関わる中世遺構として法照禅師月船深海塔所並びに普光庵跡や真言院井戸などがあります。

社殿には、主に創建の際に日光東照宮の古社殿を移築したもので、一間社流造の本殿、入母屋造の拝殿、唐門などは国の重要文化財にも指定されています。他にも、1618 年（元和 4 年）に作られた大鉄燈籠などが重要文化財の附（ついたり）に指定されています。

世良田東照宮を考察して思ったことは、徳川氏発祥の地といわれる神社であることから、太田市内に国の史跡に指定されている「新田荘遺跡」と国の重要文化財に指定されている入母屋造の拝殿があることで、太田市には歴史あふれる素晴らしい観光地があることを訪れる観光客に知ってもらうことで、太田市の地域活性化につながればよいと思いました。

## 6つ目、 縁切寺満徳寺資料館の概要について

縁切寺には、江戸時代に離婚を求めて駆け込んだ妻を救済して、夫との離婚を達成させてくれた尼寺のことで、「駆け込み寺」とも「駆け入り寺」ともいう。縁切寺は寺院のもつアジール性（避難所）の名残と考えられ、男子禁制の尼寺には、一般的に縁切寺的機能があったと思われる。しかし、江戸時代中期以降、幕府から公認された縁切寺は、ここ上州（群馬県）の満徳寺と相州（神奈川県）鎌倉の東慶寺の世界に唯一、二つだけの駆け込み寺であった。世界に二つの東慶寺と満徳寺が、江戸時代を通じて縁切寺として存在しえたのは、徳川家康の孫娘千姫（せんひめ）にかかわる由緒により、満徳寺は千姫自身が入寺し、離婚後再婚した例にならって、両寺とも古くからの縁切寺法の特権が再確認されたと伝えられています。

ところで、千姫本人は入寺せず、身代りに俊澄上人（しゅんちょうしょうにん）が住職として入寺したといわれ、俊澄上人は満徳寺中興開山と称されましたが、その出自にはいろいろな説があったとみられ、満徳寺の住職は弟子に譲り、つまり先の住職が後の住職を選任し、三代までの大奥から住職が選任されているので、俊澄上人も大奥にいた人物と考えられています。

徳川氏と満徳寺には、鎌倉時代に新田荘の徳川郷を領地とした新田義季（新田義重の子）は、所領にちなんで徳川（得川）四朗と名乗り上げた。徳川家康はこれを先祖とするといふ由緒が江戸時代の満徳寺の地位を決定し、家康は徳川郷を徳川氏の先祖新田氏の故地、つまり徳川氏発祥の地であるとして、天正19年（1591年）11月に450石の御朱印地（ごしゅいんち）として年貢課役（ねんぐかやく）を免除し、特別に庇護した（そのうち100石が満徳寺の御朱印地とされた）。徳川村とはいわずに、中世的な「郷」と称したのもその現れと考えられています。徳川郷を支配した正田隼人（しょうだはやと）家で、土地では「頭役」と呼ばれ、将軍の代替わりに際しては、満徳寺住職と並んで拝喝の栄によくするなど特別な地位にあり、満徳寺は、千姫が満徳寺に入寺したことにより、寺格を高めることとなった。

縁切寺満徳寺資料館を考察して思ったことは、縁切寺は「駆け込み寺」と「駆け入り寺」という寺があり、江戸時代に離婚を求めて駆け込んだ妻を救済して、夫の離婚を達成させてくれたという説があることで、満徳寺には、江戸時代中期以降に幕府から公認された縁切寺と知られたということがあり、資料館にも縁切寺と満徳寺で起きたできごとがあることを知りました。この結果、太田市を訪れる観光客にこういう素晴らしい歴史施設があることを知ってもらおうことで、太田市の歴史を実感してもらえれば幸いです。

## 7つ目、金山城史跡の歴史について

太田市のほぼ中心にそびえる標高239メートルの金山に築かれた城が、「新田金山城」です。通称「金山城」「太田金山城」とも呼ばれます。長らく「平安末期～鎌倉時代に新田氏によって最初の城が築かれ、新田義貞一族滅亡と共に一度廃城になった」とされてきましたが、発掘調査や文献での正確な裏付けはなく、現在では1469年（文明元年）に岩松家純（新田

家純)によって築城されたという説が一般的です。岩松家純の子・昌純の代に、重臣横瀬泰繁が下剋上により権力を握り、1528年(享禄元年)には由良(横瀬)成繁が城主に、その後子の国繁、1584年(天正12年)には北条氏へと城主は変わりました。

金山城は、東西3.1Km、南北3.8Kmという国内でも最大規模の広大な縄張りを持つ城で、山頂の実城を中心に四方に伸びる尾根上に南曲輪、鍛冶曲輪、二の曲輪、三の曲輪が築かれ、虎口、物見台、矢倉台、そしてそれらを取り囲むように土塁、石塁、堀切が設けられています。その守りは堅牢強固で、かの上杉謙信も五度ほどこの城を攻め立てたが落城とはならず、難攻不落の名城と謳われた。1590年(天正18年)、豊臣秀吉の小田原征伐によって北条氏が滅亡し、廃城となりました。

現在城跡は整備され、30台ほど止められる駐車場やトイレ、休憩所なども設置されています。「中背の山城には総石垣の城はない」とされていたそれまでの定説を覆す迫力ある石垣、石塁は見もので、難攻不落といわれたこの城の往時の姿を垣間見ることができます。1934年(昭和9年)に「金山城跡」として国の史跡に指定され、また2006年(平成18年)には日本100名城の一つにも選定されました。

#### 考察

金山城跡は日本100名城にも登録されているという太田市民なら誰もが知っているという程有名ですが、名前は聞いたことがあるが行ったことがないという人がほとんどです。なぜ太田市の顔ともいべき金山城跡を訪れる人が少ないのかを考えてみました。

私が金山城を訪れて感じたのは不快感みたいなものでした。山の中ということもあり周りには木や草が生い茂り、歩道は大きな石が転がっていてとても歩きにくく、行きたいと思える場所ではありませんでした。観光地として集客するためにはそこが改善点だと思います。例えば、歩道をお年寄りでも歩きやすいように歩道の整備や、雑草を刈り、花を植え、色合いを作ることをするべきだと私は考えました。このように改善していけば集客数は増え、観光地として金山城は有名になるのではないかと考えます。

#### 8つ目、史跡金山城跡ガイダンス施設について

史跡金山城跡ガイダンス施設は、金山城の歴史を紹介する歴史学習の場、金山来訪者の憩いの場として、平成21年5月30日に金山の麓に開館しました。大光院や金龍寺より400mほど北側の県道沿いにあります。施設は北側と南側の建物に分かれますが、北側には平屋建ての史跡金山城跡ガイダンス施設、南側には2階建ての太田市金山地域交流センターが併設されています。そのため出入り口が2か所に分かれています。デザイン上では一体となった建物になっています。建築家「隈研吾」氏による設計で、外壁には金山城の石垣をイメージした石版が配置されています。

建物の中にはガイダンスルームというものがあり、その中にはテーマ解説、再現シーン、戦国シアター、上空から見た金山、城ナビ、四季の宝箱、フィールドマップ、情報サロンなどの金山についての展示がされています。

## 考察

この施設は金山城跡について詳しく知ることの施設だが、知る人はあまり多くないと思います。実際に私たちが見学に訪れた時も、私たちのほかにお客さんは2名しか見られませんでした。金山城跡について知るということは太田市について知るということと同じだと思うので、当ゼミではまず知ってもらうことから始めたいと考えた。

どうすれば知ってもらう事が出来るのか、それは世界的にも注目されている「隈研吾」氏の名前使わせてもらうのが確実な方法だと思います。「隈研吾」氏の名前により、施設に興味を持った人が訪れ、その人々が次は金山城跡に興味を持ち、足を運ぶという連鎖が起こると思います。この方法によりガイドンス施設、金山城跡、どちらとも集客数が増え観光名所になると私は考えました。集客数を増やしもっと有名になり、太田市民だけでなく県外からも足を運んでもらえるような金山城跡になってほしいと思います。

## 太田市の魅力について：

太田市は平成17年3月28日、近隣の尾島・新田・藪塚本町の3町と合併して新「太田市」が誕生しました。これまで太田市は大光院の門前町、自動車や繊維を中心とする工業都市として発展してきましたが、合併によって「新田荘」に代表される歴史・文化の都市としての魅力も持つことになりました。

## 今後の課題：

一年間プロジェクトゼミを実施し、魅力作りの特徴と人々とのふれあいの立場としての重要性を学びました。

この結果、将来どのような仕事をするにしても人々の気質・生活スタイル・産業構造、それらを形成する歴史的・文化的背景を理解することに取り組み、その地域の人々に快く受け入れられ、事業を成功させることが私たちの今後の課題であると感じました。

## 年間のまとめ：

当プロジェクトゼミを通じて、「住んでよしの太田から訪れてよしの太田」をテーマとし色々な人に太田市を知ってもらい、サプライズ（意外性）を体験し、何度も太田市に来ていただくために、次の2つにまとめて提案したいと思います。

**1つ目は、金山城史跡ガイドンス施設を太田市全域のガイドンス施設にすること。**

**2つ目は、道の駅 おおたの最大の人気商品である、各種お饅頭に葵の御紋入り饅頭を加えること。**

まずこれらを実行することから着手し、太田市の活性化を実現していきたいです。

#### 参考文献

- ・ 太田市 HP  
<http://www.city.ota.gunma.jp/>
- ・ 道の駅 おおた  
Michinoeki-ota.com
- ・ ぐんまこどもの国  
Gunma-kodomonokuni.jp
- ・ 三日月村  
<http://www.mikazukimura.com>
- ・ ジャパンスネークセンター  
<http://www.snake-center.com>
- ・ 世良田東照宮  
<http://yumemusubi.com/mori/jinja/gunma/seratatoshogu.html>
- ・ 縁切寺満徳寺資料館  
<http://www8.wind.ne.jp/mantokuji>
- ・ 金山城史跡ガイダンス施設&金山城跡  
<http://www15.ocn.jp/~nanao/visitcastle/kanayamaiyo.html>

#### 参考資料

- ・ 太田市観光ガイドパンフレット1部

#### 担当教員による講評

観光ホスピタリティコース第二期生の演習Ⅰとして、上記テーマに基づき、自然、歴史文化、産業面において豊かで恵まれた立地・太田市を「住んでよしの太田」から観光的視点にて「訪れてよしの太田」にする方策を多くの現場調査を踏まえて検討の結果、前記の結論を導き出すことが出来た。これは太田市の魅力をシンプルにしかも力強く印象付ける効果的な具体策であり、太田市に提案すべき事案と思料される。プロジェクト研究の成果を多としたい。